

## ド イ ツ 語

科目責任者 能 登 慶 和  
学年・学期 1 学年・通年

### I. 前 文

獨協学園の「獨協」は「獨逸（ドイツ）学協会」の略称である。その名前の由来からも分かるように、獨協学園はその創設時からドイツ連邦共和国とは密接な関係にあり、獨協学園は「語学の獨協」ともいわれている。国際的交流に基づく医学研究は獨協医科大学の建学の理念の一つであり、国際的視野を持った医師を育成することは本学の目標とするところである。

外国語を学ぶ最大のメリットは、自分たちとは異なる価値観や世界観を持つ外国の文化と出会い、また異なる「他者」の存在を認識し、そこから逆に、文化を含む自らを相対化、客体化して捉えることができるようになる点にある。本科目ではこの「文化的複眼」の獲得をめざし、グローバルな視点から物事をとらえる能力を養う。

1学期では主にプリントを用いて文法項目を扱い、その後はテキストに沿って文法項目を応用しながら総合的なコミュニケーションスキルを身につける。

### II. 担当教員

准教授 能 登 慶 和 （語学・人文教育部門）  
非常勤講師 笹 原 健 （語学・人文教育部門）

### III. 一般学習目標

- ・ドイツ語の基礎的な構造を、その考え方の特徴から理解する。
- ・ドイツ語独自の考え方と、日本語および英語の考え方との共通点や相違点を理解し、その構造を比較する。
- ・ドイツ語を学ぶことによって、私たちとドイツ人の価値観の違いを知り、複眼的視点から異文化をとらえる。
- ・ドイツ語で簡単な意思疎通ができるよう、「読む」・「聴く」・「書く」・「話す」に「interaction」を加えた5技能の総合的なコミュニケーション能力を習得する。

### IV. 学修の到達目標

- 1) ドイツ語の正しい発音を身につける。
- 2) 基本語彙を習得し適切に使用する。
- 3) ドイツ語の文法の概略を理解し応用する。
- 4) 簡素に書かれたドイツ語の文章を理解する。
- 5) 基本的な会話のパターンを身に付け、他者と対話する。

### V. 授業計画及び方法 \* ( ) 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)  
2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション  
6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	5	13	水	3	導入: Das Alphabet, 発音 アルファベットの読み方, 発音	能 登 慶 和 笹 原 健	1, 3
2		13	水	4	基礎文法動詞編: 人称代名詞と動詞の人称変化, 不規則動詞		1, 3
3		20	水	3	基礎文法動詞編: 語順と文の種類, 疑問詞		1, 3

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
4	5	20	水	4	基礎文法動詞編：助動詞の人称変化と語順，分離動詞	能 登 慶 和 笹 原 健	1, 3
5		27	水	3	ブロックテスト①		
6		27	水	4	基礎文法名詞編：名詞の性，冠詞，格変化		1, 3
7	6	3	水	3	基礎文法名詞編：定冠詞類の格変化		1, 3
8		3	水	4	基礎文法名詞編：不定冠詞類の格変化		1, 3
9		10	水	3	ブロックテスト②		
10		10	水	4	基礎文法前置詞：前置詞の格支配		1, 3
11		17	水	3	基礎文法前置詞：空間を表す前置詞（3・4格支配）		1, 3
12		17	水	4	基礎文法接続詞：接続詞		1, 3
13	7	8	水	3	ブロックテスト③		
14		8	水	4	Lektion 1：人と知り合う①		1, 3
15		15	水	3	Lektion 1：人と知り合う②		1, 3
16		15	水	4	Lektion 1：人と知り合う③		1, 3
17	8	19	水	3	ブロックテスト④		
18		19	水	4	Lektion 2：自由時間①		1, 3
19		26	水	4	Lektion 2：自由時間②		1, 3
20	9	2	水	4	Lektion 2：自由時間③		1, 3
21		9	水	3	ブロックテスト⑤		
22		9	水	4	Lektion 3：一日の行動①		1, 3
23	10	7	水	3	Lektion 3：一日の行動②		1, 3
24		14	水	3	Lektion 3：一日の行動③		1, 3
25		21	水	3	ブロックテスト⑥		
26		28	水	3	Lektion 4：住まい①		1, 3
27	11	4	水	3	Lektion 4：住まい②		1, 3
28		11	水	3	Lektion 4：住まい③		1, 3
29		18	水	2	ブロックテスト⑦		
30		18	水	3	Lektion 5：食事①		1, 3

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
31	11	25	水	2	Lektion 5：食事②	能 登 慶 和 笹 原 健	1, 3
32		25	水	3	Lektion 5：食事③		1, 3
33	12	2	水	2	ブロックテスト⑧		
34		2	水	3	Lektion 6：買い物①		1, 3
35		9	水	2	Lektion 6：買い物②		1, 3
36		9	水	3	Lektion 6：買い物③		1, 3
37		16	水	2	ブロックテスト⑨		
38		16	水	3	Lektion 7：家族①		1, 3
39	1	6	水	2	Lektion 7：家族②		1, 3
40		13	水	2	Lektion 7：家族③		1, 3

#### VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

- ・成績は、各授業時に行う確認テスト（20%）、全9回のブロックテストの平均（50%）、3学期口頭試験（20%）、課題等（10%）から総合的に判定する。※1・2学期の定期試験は実施しない。3学期は口頭試験のみ実施する。
- ・確認テストは事前の予習動画に基づいて出題する。
- ・ブロックテストは各課の最後に行い、形成的評価とする。
- ・口頭試験では実際に対話を実践してもらうので、普段から発音を意識して積極的に対話練習に励むこと。

#### VII. 教科書・参考図書・AV資料

- 1) 教科書：スタート！1 ノイ ーコミュニケーション活動で学ぶドイツ語ー，三修社
- 2) プリント：授業中に随時配布する

#### VIII. 質問への対応方法

問い合わせ先：ドイツ語教員室（基礎棟3階）月～木曜日 9：00～17：00  
 担当教員連絡先：能登 慶和（y-noto@dokkyomed.ac.jp）

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

\*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
<b>医師としてのプロフェッショナリズム</b> 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	◎
<b>能動的学修能力</b> 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる	○
<b>地域医療の理解</b> 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる	
<b>国際性</b> 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる	○
<b>リサーチマインド</b> 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる	

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題等については授業やLMS等を通じて全体あるいは個別に適宜フィードバックを行う。返却されたプリント類は綴じておくことが望ましい。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

事前学習（15分）：予習動画を配信するので必ず予習すること。講義当日に予習内容に基づき確認テストを行う。

事後学習（15分）：事後プリントを配布するので必ず復習して提出すること。

XII. コアカリ記号・番号

PR-03-01-01, LL-01-01-02, RE-01-01-02, IT-03-02-01